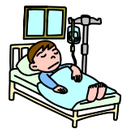
頚動脈ステント留置術（前日入院）を受けられる＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様へ

血管の中からステントという金属で血管を拡張する手術です。

福井赤十字病院　脳神経外科　脳神8

	手術前日（　／　）	手術当日（　／　）　午前・午後　時　分			手術翌日（　／　）	手術２日後（　／　）	手術3日後～退院（　／　）
		手術前	手術中	手術後			
目標	・針を刺した場所に異常がなく、麻痺などの術後合併症がなければ退院になります						
検査 治療	・外来で必要な検査をします 胸部写真・頭部写真 心電図・血液検査・尿検査 ・入院中の方は今までに検査は終了しています	・点滴をします 	・右腕に自動血圧計を巻きます ・心電図モニターをつけます	・部屋に戻ってからも、点滴があります ・必要時酸素吸入をします 	・採血、MRI検査、頚部・胸部写影、頸部超音波検査をします ・夜中までゆっくりと点滴を続けます 		・医師の許可があれば、退院できます
処置		・血栓予防のため、弾性ストッキングを履きます ・尿の管を入れます	・針を刺す部位に消毒・局所麻酔をします ・造影剤を注入する時、頭が熱くなるような感じがありますが、一時的で心配ありません	・針を刺した部分の痛みや頭痛があれば、すぐに教えてください ・安静による腰などの痛みは、できるだけ和らぐようお手伝いします	・針を刺した部位が痛む場合がありますが、青く腫れていなければ、心配ありません ・歩行ができたら、尿の管を抜きます ・歩行ができたら、弾性ストッキングを脱ぎます		
安静度	・制限はありません		・消毒後は体を動かせません ・用事があれば大きな声で言うようにしてください	・針をさした方の足は曲げたり動かしたりできません ・状態に応じて足を固定することがあります	・MRIの結果や状態に異常がなく、医師の許可があれば制限がなくなります		
食事	・普通食または医師の指示する食事が出ます 	・朝から絶飲絶食です 		・医師の許可があれば水分が飲めます	・医師の許可があれば食べることができます 		
排泄				・安静時間中、トイレには行けないため、尿の管が入ってます	・安静の制限がなくなれば、トイレまで歩行できます		
清潔	・お臍の下から太ももにかけて除毛することがあります（手術部位を清潔にするためと、手術後強力な絆創膏で止血するためです） ・入浴許可のある方は、入浴します ・入浴できない方は、看護師が身体を拭きます	・手術に行く前に、手術衣に着替えてください			・体を拭きます 		
観察	・血圧・脈拍・体温など観察します	・手術前に血圧・体温などを測ります 	・手術中、自動的に血圧を測ります 	・手術直後、30分後、1時間後、2時間後、以後2時間毎に経過を観察します	・朝、昼、夕に血圧や体温を測ります 		
その他	・入院までの経過をお伺いします ・医師より手術について説明があります ・看護師より手術の準備について説明があります ・入院診療計画書、手術同意書をお渡ししますので、署名の上お出しください	・身につけているものは、すべて外してください □入れ歯　□時計 □眼鏡　□かつら □コンタクトレンズ □指輪　□ネックレス □ヘアピン　□貼り薬		・主治医より結果について説明があります 		・看護師が裏面を使い、退院後の生活について説明します	
説明者							

※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医（　　）　担当看（　　）

入院費は、ひと月ごとの【自己負担限度額】＋【食事負担額】＋【その他（個室料、診断書料など】合計です。
自己負担限度額の確認ができない場合は、本人の負担割合（1 割～3 割）での請求となります。
請求に関する問い合わせ先：病棟担当事務

頸動脈ｽﾃﾝﾄ留置術を受けて退院される方へ

無事手術を終えられ、退院おめでとうございます。これから退院後の生活の注意点について説明させていただきますので、参考になさってください。以下の内容で不明な点は、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士などにご遠慮なくお尋ねください。

１、病気について

脳に栄養を与える血管が、高コレステロール血症や動脈硬化などによって狭くなり、血の流れが悪くなってしまう病気です。再発予防のためには上記の危険因子を継続してコントロールしていくことが重要です。

２－１、血圧のコントロールについて

・自分の普段の血圧を知っておきましょう。降圧剤を内服されている方は家でも血圧を測定されることをお勧めします。血圧測定は、朝・夕に数回深呼吸をしてから測りましょう。
（できれば毎朝同じ時間帯で測ると良いです）
・本院でも高血圧教室を開催しておりますので、お気軽にご参加ください。
（月１回、第３水曜日 13 時 30 分～14 時 15 分）
・不規則な生活やストレス、バランスの悪い食事なども血圧に影響を及ぼすことがあります。規則正しい生活を心掛けましょう。
・適度な飲酒はストレス解消になりますが、飲酒は慢性的に血圧をあげてしまいます。

ビールなら中びん	１本（500ｍｌ）
日本酒なら	１合（180ｍｌ）
ウイスキーなら	シングル２杯かダブル１杯
ワインなら	グラス２杯（240ｍｌ）
	★週に２日は飲まない休肝日をもうけましょう★

２－２、血糖値のコントロールについて

糖尿病は動脈硬化を引き起こしやすく、血液がドロッとして流れが悪くなり、その他にも眼・神経・腎臓などの細かい血管の病気も引き起こします。バランスの良い食事や適度な運動をこころがけましょう。

２－３、心臓病や腎臓病の治療について

心臓や腎臓に病気を持っていると脳梗塞の危険性が高いといわれています。
現在治療されている方は、定期受診やお薬など中断しないようにしましょう。

２－４、内服について

・処方されたお薬は指示通りにきちんと飲みましょう。お薬の飲み方を変えてしまうと効き目が十分でないこともあります。
・薬剤師から飲んでいるお薬について説明があります。

２－５、日常生活について

・食事は腹八分目にして、食べ過ぎないようにしましょう。
・塩分の取りすぎは、血圧を高くするので、かわりにだしや柑橘類・香辛料などで味付けの工夫をして、塩分を控えましょう。
・動物性脂肪の取りすぎは、血液中のコレステロールを増やし、動脈硬化を進めるので摂り過ぎ注意しましょう。病院での食事を参考にしてください。

～摂り過ぎに注意する食品～
バター、マーガリン、ラード、牛/豚の脂身

・便秘は避けましょう。トイレでいきみすぎると血圧が高くなります。水分を十分にとり、食物繊維も多くとりましょう。
・禁煙に努めましょう。タバコは血管を収縮させ、血圧を高くしたり、動脈硬化を進めたりします。
・次回受診日に関しましては、退院診療計画書に記載されております日時を確認ください。
・次回受診予定日の前であっても、体の調子がおかしいと感じた時は、予定日を待たずに受診しましょう。



福井赤十字病院　　１－５病棟